



小さな地球 屋久島

九州最高峰1,936mの宮之浦岳がそびえる屋久島は、周囲130km、面積500km²の9割が森林という洋上の山塊です。

およそ1,550万年前、マグマから生まれた花崗岩の塊が、海底の堆積岩を押し上げて姿を現したのが屋久島です。

亜熱帯の島ですが、山頂は北海道なみの気候で、日本の自然の縮図を見ることができます。



平成17年に折れた縄文杉の枝は、数千年を生きる巨木の生命力と森の成り立ちを知る手がかりとして「いのちの枝」と名付けられました。

縄文杉
いのちの枝



縄文杉の種子

巨木の命は
受け継がれる

オリジナルミュージアムショップ

ここでしか手に入らない小物たちと屋久島・屋久杉がまるごとわかるオリジナル書籍を販売しています。

森のロボット

ヤクザル キーホルダー

かわいい時計たち

屋久杉自然館
オリジナル ポストカード

トビオ携帯ストラップ

屋久杉自然館
ビジュアルテキスト 屋久杉

オリジナル書籍
① 小さな地球 屋久島
② 屋久島やくすぎ物語
③ 屋久杉巨樹・著名木

わかりやすいと評判!



別館にはつくば博(85)に出展した巨大根株やオリジナルグッズを制作しているクラフト室があります。

◆屋久杉の路

紀元杉 → ヤクスギランド → 屋久杉自然館 → 至宮之浦・空港

約15分 約30分 約5分

◆入館のご案内

- 開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 入場料/大人600円 高校・大学生400円 小中学生300円
(団体20名以上は1人100円割引いたします)
※団体・グループの方は、館内のご案内をいたします。事前にご連絡ください。
- 休館日/毎月第1火曜日、年末年始(12月29日~1月1日)

屋久杉自然館

〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2739-343
TEL0997-46-3113 FAX0997-46-3168
URL <http://yakusugi-museum.com/>



樹高25.3m・胸高周囲16.4m/縄文杉

YAKUSUGI MUSEUM
屋久杉自然館
屋久島

世界遺産登録地/10.747ha

屋久杉探検館

屋久杉の森は手つかずの秘境ではありません。屋久島の人々が500年も前から巨木を倒し、暮らしを支えてきたのです。そこには、たくみな森林の生態と人々のかかわりが秘められています。



●1660歳の屋久杉

杉は日本固有の植物といわれるスギ科のスギで、屋久島の山地に自生しているスギを屋久杉と呼んでいます。

輪切りにした円盤の年輪は1,660本あります。中心部では直径37cmほどで500本も年輪があり、たいへん成長が遅いことがわかります。

成長の遅い屋久杉は材質が緻密で樹脂分が多く、腐りにくいので長命だと考えられています。



●屋久杉 森のあゆみ

江戸時代の抜き切りの跡には小杉が誕生して森が再生しました。その後大量伐採を経て、生態系を生かした林業の時代を迎えています。



●山樵具

江戸時代から伝わる山師(樵)の道具は多種多様です。九州各地と同様、おもに土佐の刃物が使われました。



●丸太で比べる各地の杉

同じ太さでも樹齢はそれぞれ違います。年輪を比べると、屋久杉は栄養の貧しい花崗岩の山に育つので、成長がたいへん遅いことがわかります。



●屋久杉伐採の大型チェーンソー

昭和31年に屋久島に導入された全長2m、重さ20kgのチェーンソーです。機械化による大量伐採の歴史をつくった貴重な資料です。



●屋久杉の平木

平木は屋久杉の短冊型の屋根材で、江戸時代に大量につくられました。人々の暮らしを支えるとともに、年貢として納められる重要な産物でした。

まっすぐな屋久杉を倒し、刃物で小割りにして平木をつくり、人の背で海岸までおろしたので。伐採跡の陽当たりの良い場所には小杉と呼ばれる若い屋久杉が順調に育ちました。

現在見ることができる屋久杉の多くは、加工に不適として切り残された異形の巨木と伐採跡に育った江戸時代生まれの小杉の大群です。

トロッコ・ディーゼル機関車

屋久杉はもちろん、生活物資の運搬や住民の足としても利用していた。

宇宙ヤクスギ

平成12年2月12日
毛利宇宙飛行士と宇宙を飛んだヤクスギの種から育った杉。
NASAの証明書付き。

必見!

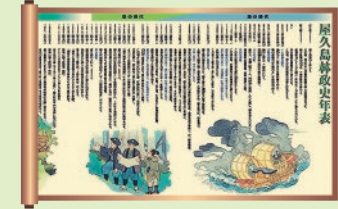
専門展示室

屋久杉の利用をすすめた聖人・泊如竹のビデオ絵物語や林政史年表、CGによるウィルソン杉再現、小杉谷の紹介などを手がかりに、屋久杉利用の歴史を様々な角度から学ぶことができます。

●ウィルソン株大杉の再現CG



●屋久島林政史年表



●小杉谷と森林軌道



昭和42年の小杉谷



トロッコによる屋久杉搬出



チェーンソーによる伐採

1924(大正13)年、安房川上流に誕生した小杉谷の伐採基地には学校もあり、最盛期には500人も暮らしていました。そして1970(昭和45)年、国有林事業の縮小とともに半世紀の歴史を閉じました。

It's New!

屋久島 森と人の物語

香り豊かな屋久島の杉を積み上げたユニークなコーナーが完成しました。屋久杉土埋木搬出の貴重な写真や新たに制作した映像「森と人の物語」を公開しています。



【屋久杉探検館】

It's New!

からくり装置「地杉のオブジェ」

屋久島の自然を音やリズムで表現したからくり装置が登場しました。大小いくつもの歯車で運ばれた木球やガラス玉が、地杉のレールを軽やかにかけ下りていきます。



【自然パノラマ館】

ギャラリー

屋久杉の木組みを楽しめるギャラリーでは、学芸事業の成果を発表する特別展をおこなっています。また、小杉谷や屋久杉伐採に関する歴史的に貴重な映像も上映されています。